

令和5年(2023年)6月22日(木曜日)



大和合金 ユニフォーム刷新 グループで一体感醸成

銅合金の鑄造品・鍛造品(橋区)と製造を担う三芳合「皆が一つになってほしい」などを手掛ける大和合金(金工業(本社・埼玉県三芳)という思いから刷新を決め)グループはこのほど、一体感(町)では、これまで異なる「た」と話している。をさらに醸成するためユニフォームを着用している。埼玉県富士見市の齊藤新フオームを刷新した。刷新により両社でユニ事製作を担当。両社の男真。販売・加工を担当するフオームを統一。両社で社女ともに同じデザインで、大和合金(本社・東京都板長を務める萩野源次郎氏は、背中には銅合金の溶湯にちなんだイメージカラー

のオレンジをワンポイントであしらった。また背中部分にも名前を入れて、後ろからも着用者が分かるように工夫。さらに安全対策として腕部分に血液型を刺繍している。加えて福島県への植林で得た排出権の購入を通じたカーボンオフセット付きとなっていることも特長。

熱を帯びる部門では綿100%品を、そのほかの部門では乾きやすく涼しく過ごせるポリエステル入りのものを着用している。